



鶴見区運営方針

I 基本目標

いつまでも住み続けたいまち 鶴見

「横浜市中期計画 2022～2025」の基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」のもと、鶴見区では、将来にわたり誰もが“いつまでも住み続けたいまち”となることを目指します。

II 目標達成に向けた施策

市の方針や鶴見区の地域特性・課題を踏まえ、地域防災力の向上、多文化共生の推進、子育て支援の充実、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成、脱炭素行動の推進などについて、地域・企業の皆様とともに進めていきます。

1 地域力の強化

地震、風水害及び都市災害等に備え、自助・共助の取組推進など、地域における防災力の向上を図るとともに、自治会町内会の活動支援や、地域と連携した防犯・交通安全対策など、地域力強化の取組を進めます。

2 区内経済・活力の向上

多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる多文化共生の推進や、地域・企業・大学等さまざまな主体との連携により、鶴見区内の地域資源を生かしたにぎわいづくりを進めます。

3 子どもから大人まで安心・元気に

身近な地域での子育て支援をより充実させるとともに、3年後に開催される「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成とあわせた脱炭素行動を推進し、あらゆる世代がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

III 目標達成に向けた組織運営

信頼される区役所づくり

人権や多様性を尊重するとともに、市民目線とスピード感をもって、区民の皆様の声を丁寧にお聞きしながら、寄り添ったサービスを提供します。また、デジタル技術の活用などによるサービス向上や業務の効率化を進め、区民の皆様のニーズにお応えする施策を進めていきます。

「チーム鶴見」の推進

職員の意欲・能力が最大限に発揮される職場づくり・人材育成を進め、すべての職員が「チーム鶴見」の一員として連携し、前例にとらわれることなく区民サービスの向上に取り組みます。

主な事業・取組

1 地域力の強化

防災活動推進事業

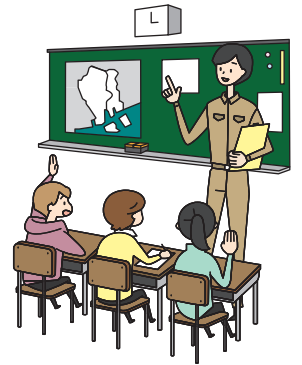
中期計画 テーマ 05

- さまざまな区民の方に応じたよりきめ細やかな防災講座の実施
- つるみ生活・防災マップ（多言語版）の更新

自治会町内会 振興事業

中期計画 テーマ 02

- 自治会町内会の加入促進・負担軽減のためのアドバイザーの派遣・ICT 機器の導入補助の実施



2 区内経済・活力の向上

多文化のまち・つるみ 推進事業

中期計画 テーマ 02

- 「多文化共生基本指針」の周知・啓発や取組の推進
- 施設・店舗・飲食店等を通じた外国人区民への情報提供の拡充

「千客万来つるみ」 プロモーション事業

中期計画 テーマ 03・04

- 地域・団体・企業・大学等との連携、観光資源の活用による誘客企画の実施



3 子どもから大人まで安心・元気に

つるみ DE 子育て 応援事業

中期計画 テーマ 01

- 地域の子育て支援サークル・団体等の把握やネットワーク化による地域資源の有効活用に向けた調査の実施
- 放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の職員への研修の実施

鶴見区環境行動 推進事業

中期計画 テーマ 02

- プラスチックごみの分別・リサイクル拡大(R7. 4月～)を契機とした脱炭素行動の啓発
- GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会) 開催に向けた機運醸成



「横浜市中期計画2022～2025」では基本戦略「子育てしたいまち 次世代をともに育むまち ヨコハマ」を掲げ、5つのテーマのもと各施策を推進しています。鶴見区においても、各テーマに沿って事業を実施し、基本戦略の実現に取り組めます。

詳細は
こちら↓



テーマ 01：子育て世代への直接支援

テーマ 02：コミュニティ・生活環境づくり

テーマ 03：生産年齢人口流入による経済活性化

テーマ 04：まちの魅力・ブランド力向上

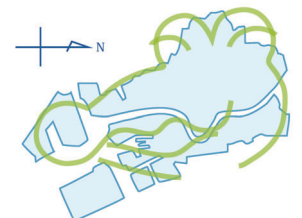
テーマ 05：都市の持続可能性

COLUMN・鶴見区ってどんなまち？

鶴見区は鶴見川、多摩川に囲まれた東側の「川のまち」、北西部の「丘のまち」、埋立地からなる「海のまち」の3つのエリアで成っており、それぞれに特色があります。

また、鶴見区の人口は約29万6千人と市内18区中3番目に多く、平均年齢が若い(4位)ほか、外国人の数も多い(2位)のが特徴です。さらに、区内には1万を超える多くの事業所が立地(4位)しています。

これからも、区の特性も踏まえて、施策を推進し、安全・安心、にぎわいあるまちづくりを進めていきます。



ワニの横顔に似ている鶴見区

鶴見区に関連する主な局事業の予定

・ 神奈川東部方面線「相鉄・JR直通線」の鶴見駅停車の検討 ①

神奈川東部方面線「相鉄・JR直通線」の鶴見駅停車実現に向けて、地域とともに取り組みます。

・ (仮称) 豊岡町複合施設の検討 ②

豊岡小学校建替えをきっかけに、鶴見図書館、鶴見保育園等との複合施設整備の検討を進めていきます。

・ 東部方面斎場（仮称）の整備 ③

新たな斎場を大黒町に、令和9年3月中の供用開始を目指して整備していきます。

・ 踏切の安全対策 ④

生見尾踏切など課題のある踏切について、安全対策を進めていきます。

・ 鶴見川人道橋の整備、 末吉橋の架け替え

鶴見川人道橋 ⑤ は令和7年春供用開始を目指して整備していきます。末吉橋 ⑥ は引き続き架け替え工事を進めていきます。

・ 小学校の建替え

矢向小学校 ⑦ は建替えの工事を進めていきます。上末吉小学校 ⑧ は設計を進めていきます。

・ 緑地・公園の整備

北寺尾六丁目の公園(旧「サムエルはらっぱ」) ⑨ は、令和6年夏頃の完成を目指して整備していきます。

二ツ池公園 ⑩ は、獅子ヶ谷池側の整備に向け、引き続き設計等を進めるとともに、一部護岸の改修工事に着手する予定です。

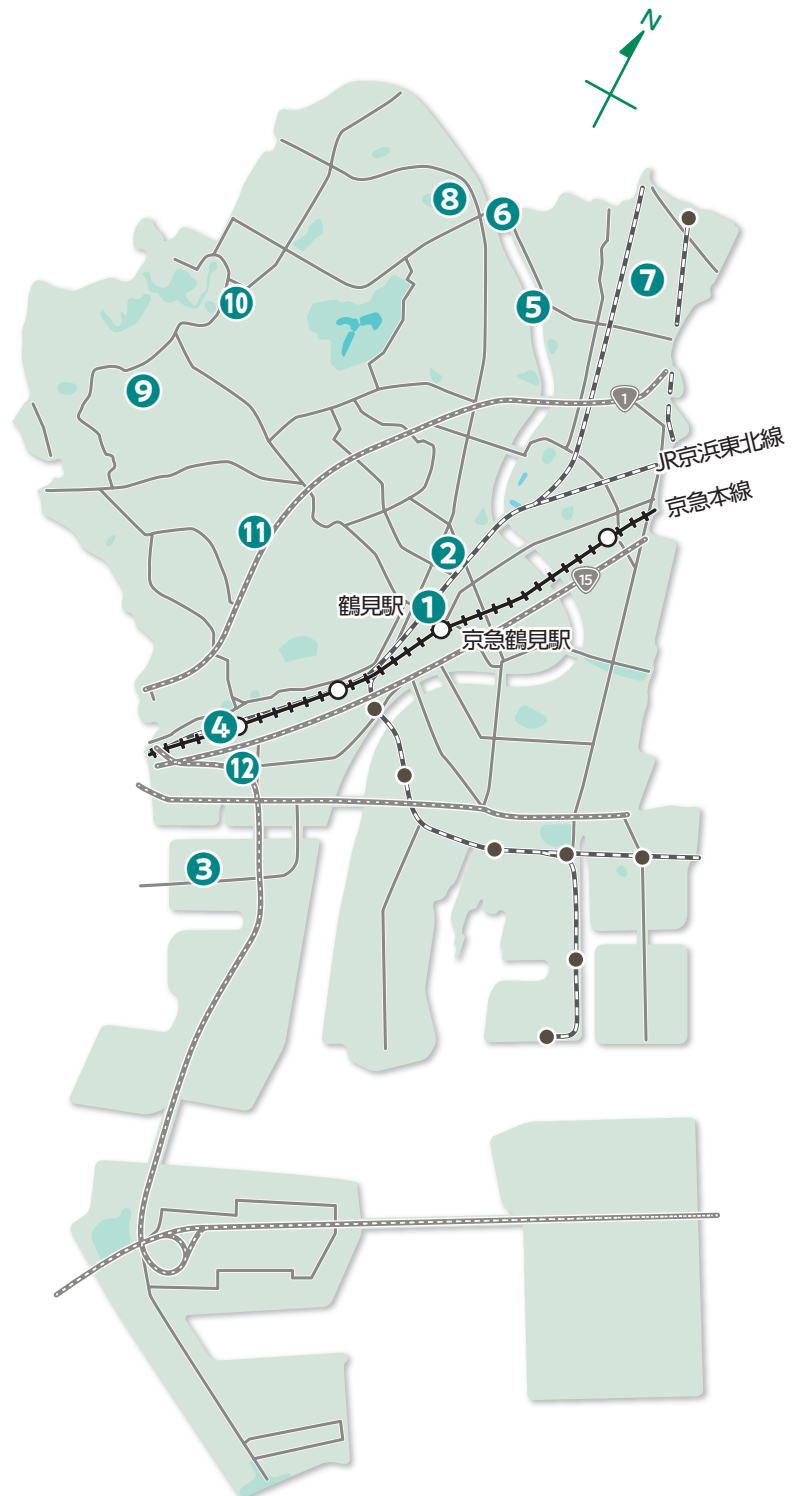
東寺尾六丁目の古民家等 ⑪ は、歴史的建造物である古民家を生かした公園整備計画の検討を進めていきます。

・ (仮称) 東部児童相談所の整備 ⑫

令和8年4月開所に向け、令和6年度は実施設計を進め、建築工事に着手します。

・ 公有地を活用したシェアサイクル事業

令和4年度から開始した横浜市広域シェアサイクル事業社会実験に基づき、公有地へのシェアサイクルポート設置を引き続き進めていきます。



区民サービスの向上を目指して

区民の皆さまの暮らしを守り、行政サービスの利便性向上に向けて、「チーム鶴見」で取り組みます。

総務課

防災・減災対策の推進、適正な選挙・統計業務の実施、利用しやすい庁舎環境の整備等により、区民の期待・信頼に応えます。

区政推進課

生活に必要な情報や区の魅力を広く発信します。地域や企業、大学の皆さまと一緒に、誰もが暮らしやすい活力のあるまちづくりを進めます。

地域振興課

町内会や区民団体の活動支援等により、まちの活性化や賑わいづくりを進めます。防犯・交通安全対策を進め、安心して暮らせるまちを目指します。

地域振興課 資源化推進担当

区民の皆さまと「きれいなまち 鶴見」を推進します。食品ロスやプラスチックごみ削減を進め Zero Carbon Yokohamaを目指します。

戸籍課

戸籍届出や転入者の最初の窓口として、丁寧にご案内します。マイナンバーカードや戸籍の制度改正などデジタル化によるサービス向上を進めます。

税務課

親切で丁寧なお客様対応を行うとともに、市税の適正・公平な課税と、着実・円滑な納税を進めます。また、個人情報の保護を徹底します。

区会計室

区役所全体の収入の管理と支出の審査を着実にを行い、区役所から区民や企業の皆さまへの迅速で、正確な各種支払いを進めます。

福祉保健課

人々がたすけあい・支えあうまちづくりや生活習慣病予防を進めるため、区民の皆さまや関係機関と話し合い、ともに活動します。

生活衛生課

食中毒の予防や犬猫の飼育マナー等、くらしの衛生に関する正しい情報をお伝えし、安全・安心な生活を送れるようサポートします。

高齢・障害支援課

高齢者や障害者のさまざまな相談に応じるとともに、必要な情報を提供し、地域でいきいきと暮らせるようサポートしていきます。

こども家庭支援課

未来を担う子ども・青少年一人ひとりの成長に寄り添い、切れ目のない支援を行います。また、子育て家庭をきめ細かく支えていきます。

保育園(潮田・芦穂崎・馬場・鶴見)

安心できる環境をつくり園児一人ひとりを大切に保育します。民間保育施設と協力して保育の質を高めます。また、地域の子育て家庭を応援します。

生活支援課

生活に困っている、仕事を探している、債務の整理や家計の見直しをしたい方々が安心して相談できるよう、寄り添った支援を行います。

保険年金課

12月の保険証廃止を着実に進め、国民健康保険や後期高齢者医療制度、各種医療費助成、国民年金について区民目線でわかりやすい説明を行います。

鶴見土木事務所

道路・下水道・公園を、安全・安心に利用できるよう維持管理します。大雨・地震などの際は迅速に対応し、被害を最小限にしています。

鶴見消防署

火災、救急、地震・風水害への対応など、消防団、地域及び企業等との連携のもと、安全・安心を実感できる鶴見区の実現に向け取り組みます。

鶴見図書館

乳幼児から高齢者まで、皆さまの読書や課題解決を支援する「まちの知恵袋」です。朗読会など本に親しむ機会づくりにも積極的に取り組みます。

鶴見水道事務所

安全で良質な水を供給するため施設の適切な維持保全に努めます。災害に備え地域の皆さまとの給水訓練や飲料水備蓄の啓発に取り組みます。